

2023 年度 小委員会活動成果報告

(20 年 月 日作成)

小委員会名	新たな都市空間形成の価値実体化小委員会	主 査 名：土田 寛 就任年月：2023 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：野嶋慎二
設 置 期 間	2023 年 4 月 ～ 2027 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>大きな社会変革の中で、都市計画も機能重視型から価値重視型に大きく変容することが求められている。共通の価値を持つ空間とは“場所”と言い換えることができるが、場所的空間形成の価値をいかに創造していくかが、都市計画の大きな課題である。本小委員会は、希求される新たな生活スタイルに追従できる場所的空間形成を実体化する計画論を、ソフト面からハード面までの多角的な視点（対象、構成、デザインプロセス、しくみ、組織など）により分析し、その情報を発信し、多様な価値を持つ都市計画の要素を再接続、再編成し、新たな価値を生み出す、場所的空間形成論の計画要素として捉えることを目的とする。</p> <p>初年度：都市の価値創成機能の実態把握と考察 2年度：大学およびその周辺地区の建築・ランドスケープ、物理的余白空間の実態把握と考察 3年度：都市の価値実体化に向けた計画論と空間論の融合検討 4年度：研究成果の取りまとめと公表</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：土田 寛 (東京電機大学) 幹事：吉岡聡司 (大阪大学)、安森亮雄 (千葉大学) 委員：池内祥見 (大阪大学)、岩崎克也 (東海大学)、小貫勅子 (東北大学)、廣田 貢 (文部科学省)、齋尾直子 (東京工業大学)、平 輝 (東京工業大学)、脇坂圭一 (静岡理工科大学)、小野尋子 (琉球大学)、福岡孝則 (東京農工大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	イノベーションコモンズ WG (2024 年度設置予定)	
2022 年度予算	220,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP ｱﾄﾞﾚｽ: http://news-sv.aij.or.jp/toshi/s1/Campus/Home.html

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. なし
講習会	1. なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. なし
大会研究集会	1. なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1. なし

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>これまで大学キャンパスおよび周辺地域等を中心に数多くの事例を収集し、分析、考察を行うことで多くの知見を得てきている。</p> <p>これらの知見を将来的な都市づくりに反映していくために、論点、視点の整理をする小委員会を複数回実施した。これらの到達点として、年度内の公開研究会の実施を掲げていたが、あまりにも膨大な知見であること、なによりも時代的な変化を考慮した都市側の視点の再考も必要なことが確認されたため、公開研究会を次年度の早期に実施することとした。</p> <p>特に大学が立地しない都市のことにも配慮したうえで、都市側の視点の視点について、ポジティブな意味で、都市空間の魅力というキーワードを設定し、“活動”と“場所”という概念からの考察を予定している。</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>小委員会の新陳代謝、若手研究者の育成、民間企業等を含めた研究成果の社会還元を視野に入れて小委員会の再編等について議論が重ねられてきている。</p> <p>しかし、工学的な建築学のみにとどまらない都市計画系の分野においては、文献等に蓄積した知見にとどまらず、人的な知見及びその人的ネットワークは大変重要と案が得る。</p> <p>したがって小委員会、WGへの若手メンバーの導入や公募は実施するものであるが、従前からのメンバーの小委員会等への参画に対して、小委員会の柔軟な運営、予算の執行等についても柔軟な運用ができることが望ましい。</p>